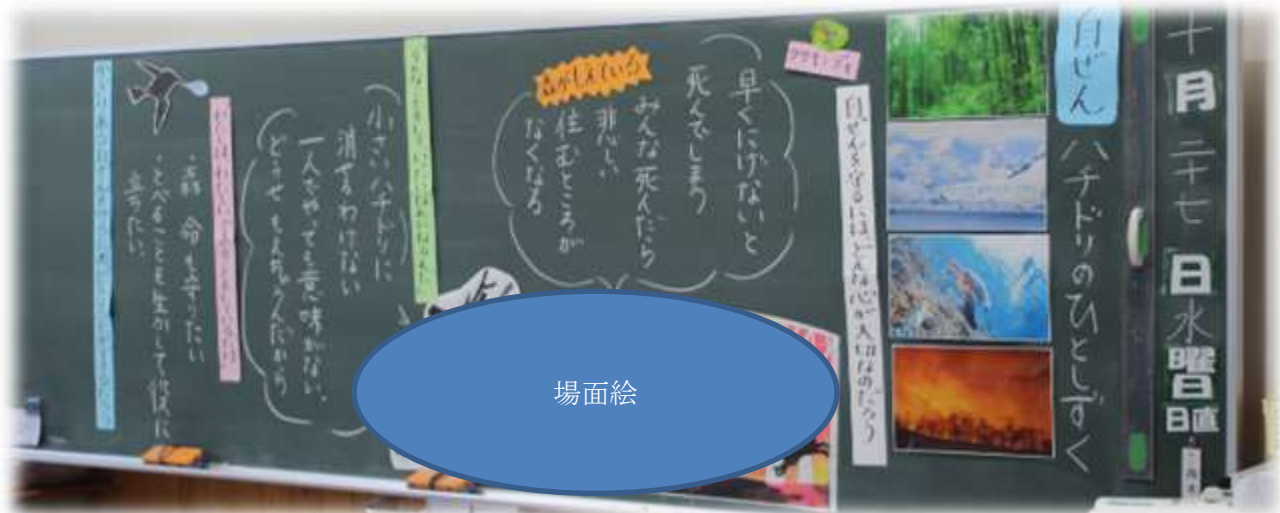


令和3年度東部地区道徳教育研究協議会  
加須市立田ヶ谷小学校  
【中学年部会】

主 題 名 母なる大地  
内容項目 D 自然愛護  
教 材 名 「ハチドリの一としづく」  
(学研「新・みんなのどうとく3」)



場面絵



ねらいに迫る発問の工夫



グループでの話し合い活動



ICTを活用した終末

## 1 指導講評

### 【① ICTを活用した教材の提示について】

- ICTだけではなく、黒板にも写真を残せていることがよかった。
- 何のためにどんな形で使うのかをしっかり考えて、ICTを効果的に使うことが大切である。本時は大成功だった。

### 【②発問の工夫について】

- 指導案だけではなく、その時の子供の反応を見ながら発問を組み立てるとよい。
- 日頃から子供の反応を把握しておく。子供の反応を予想できたから本時は成功した。
- 少し揺さぶりをかけたら、さらに深められたのではないかと。

### 【③グループでの話し合いを通じた児童の考えの深まりについて】

- 子供たちが意見を活発に出し合っていてとてもよかった。
- 友達の意見を聞きながら、子供の心の変容を見ることができるとよい。

### 【④その他】

- 写真などから子供たちの感動した反応を見ることができてよかった。
- 導入の雰囲気づくりが素晴らしかった。また、導入からねらいに迫る発問への流れがスムーズだった。
- 実態と目指す児童像を踏まえてねらいを設定する。実態を見る限り、ねらいの「どんな心が大切なのだろう」という発問が必要だった。実態を考え、どんなねらいがよいのかを考える必要がある。

